

■決算の概要

①貸借対照表の状況

【資産の状況】

2018年度末の資産総額は、2,406億5,700万円で前年度末に比べ80億4,300万円増加しました。固定資産は2,080億3,700万円となり、うち有形固定資産については、赤羽台キャンパスに隣接する土地を新規に購入したこと、赤羽台キャンパス新校舎建設工事及び附属姫路中学高等学校第3校舎建設工事で建設仮勘定が増加したこと、白山キャンパスで井上円了ホール天井等耐震化工事、板倉キャンパスでサッカーグラウンド人工芝更新工事を行ったことのほか、教育・研究のための機器備品や図書の購入などの増加がありました。各資産の減価償却や除却に伴う減少により、合計で55億3,300万円増加し1,518億4,400万円となりました。特定資産は、大学の新学部設置準備のための引当特定資産として50億円を、減価償却引当特定資産として21億円を、建設準備引当特定資産として40億円をそれぞれ組み入れたことなどにより、合計で114億9,300万円増加しましたが、土地の購入において施設設備充実引当特定資産を57億9,000万円及び将来計画施設設備引当特定資産を36億円取り崩したことなどにより、97億8,800万円減少し、合計で17億円増加の554億6,200万円となりました。その他の固定資産は、赤羽台キャンパスの教育システム開発や事務処理支援システムの追加開発に伴うソフトウェアの増加により、4,700万円増加し7億3,100万円となりました。流動資産は現金預金が42億9,400万円及び未収入金が12億8,400万円増加した一方、金銭信託売却に伴い50億円減少したことにより、合計で7億5,800万円増加し326億2,000万円となりました。

【負債の状況】

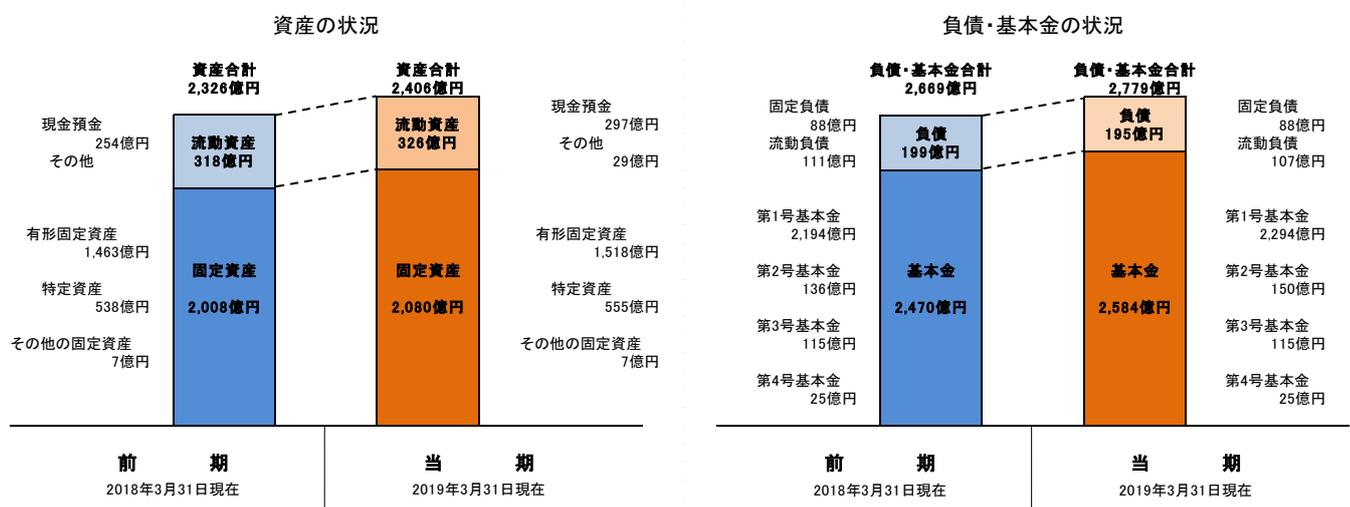
負債総額は195億2,200万円で前年度末に比べ4億700万円減少しました。固定負債は退職給与引当金及び長期未払金が合計で4,700万円減少したことにより、87億6,200万円となりました。流動負債は未払金が2億1,700万円、前払金が3億2,000万円それぞれ減少し、預り金が1億7,000万円増加したことなどにより、合計で3億6,000万円減少し107億6,000万円となりました。

【基本金の状況】

基本金は114億6,800万円増加して2,584億1,900万円となりました。このうち、第1号基本金は赤羽台キャンパスに隣接する土地の取得に係る組み入れや、施設の改修、機器備品など施設設備充実による取得や除却などにより、合計で100億6,800万円増加し2,294億5,800万円となりました。第2号基本金は、大学において新学部設置準備のための引当特定資産として50億円を組み入れた一方、土地取得に伴い36億円を第1号基本金に振り替えたことにより、合計で14億円増加し150億円となりました。

【収支差額の状況】

資産総額2,406億5,700万円に対して、負債総額が195億2,200万円になったため、純資産は前年度末に比べ84億5,000万円増加し2,211億3,500万円となり、基本金が2,584億1,900万円であったため繰越収支差額はマイナス372億8,400万円となりました。なお、今年度末における減価償却累計額の合計は775億7,000万円、基本金の未組入額は5億5,000万円となりました。



■決算の概要

②収支計算書の状況

【収入の状況】

当年度の事業活動収入の合計は468億6,000万円で、教育活動収支の主な収入項目としては、学生生徒等納付金が新学部新学科開設による入学定員の増加等に伴い前年度より5億3,200万円増加し351億7,300万円に、入学検定料などの手数料が志願者数の増加に伴い前年度より8,400万円増加し29億2,000万円に、施設設備以外の特別寄付金や一般寄付金、現物寄付などの寄付金は前年度より7,200万円増加し1億9,600万円に、経常費等の補助金は前年度より6億500万円増加し41億5,200万円になりました。教育活動外収支では、受取利息・配当金が前年度より1億9,700万円減少し3億800万円に、為替差益によりその他の教育活動外収入が前年度より8,000万円増加し8,900万円になりました。特別収支では資金運用体制の見直しに伴い有価証券や金銭信託を売却したことにより資産売却差額が22億6,900万円に、施設設備に係る寄付金、現物寄付や補助金などのその他の特別収入は2,200万円増加し、9,000万円になりました。

【支出の状況】

当年度の事業活動支出の合計は384億1,000万円で、教育活動収支の主な支出項目としては、人件費が専任教職員の採用増加、定年退職者の増加等に伴い前年度より7億5,900万円増加し215億4,000万円に、教育研究経費は前年度より1億2,800万円増加し146億8,900万円に、管理経費は2,500万円増加し15億6,200万円となっています。なお、全体のうち48億5,600万円は減価償却によるものです。

【収支差額の状況】

教育活動収支差額に教育活動外収支差額を加えた経常収支差額は、前年度より6億8,800万円増加し66億9,400万円で、さらに特別収支差額17億5,600万円を加えた基本金組入前当年度収支差額(旧帰属収支差額)は、前年度より25億8,400万円増加し84億5,000万円となりました。基本金組入額を差し引いた当年度収支差額はマイナス30億1,800万円で、翌年度繰越収支差額はマイナス372億8,400万円(支出超過)となりました。

